

事例 42 思考展開シート

(1) 疾病や薬の副作用等の影響は考えられますか？

・夜間頻回に起きてしまうということで、1年程前にサイレースが増量される。その後から、昼間の眠気、極度の前傾姿勢、食事ペースの遅滞などが見られるようになる。
翌月に元の量に戻し、しばらくは状態が戻ったが、2ヵ月後頃より再び同じような状況になりサイレース、コントミンを中止する。

【質問】現在のAさんの状況はどのような様子ですか？

【回答】薬の調整を行い、だいが向精神薬が減量となってきました。そのため、生活に支障(眠気の強さ)が出ることはなくなりました。

【質問】夜間の睡眠状況はどうですか？

【回答】よく休んでいます。

【質問】昼間の覚醒状況は薬の影響が考えられますか？

【回答】薬を減量して、眠気が見られなくなっているため、薬の影響であった可能性が高いと思われます。

(2) 身体的痛み、便秘・不眠・空腹等による苦痛の影響は考えられますか？

・4年程前にベッドから転落し腰部を骨折している。便秘はなし。
・3年程前より昼夜逆転があり、夜間頻回に起きることがあったが、現在は薬の調整の影響もあるのか、よく休めている。
・1年程前より足にひどい浮腫がある。

【質問】浮腫に対しては何かの対応をしていますか？

【回答】夜間はクッションを使い足上げをし、日中はリハビリメニューで足首を動かす練習をしています。泌尿器科の検査では、特に問題はない、とのことでした。

【質問】視力の低下に関してAさんから何かの訴えはありますか？

【回答】Aさんからの訴えはありませんが、食事の様子(器を手探りで探す)などから、視力の低下が感じられます。

(3) 悲しみ・怒り・寂しさ等の精神的苦痛、また本人の性格等の影響は考えられますか？

・表情の変化はかなり少なくなっている。元々穏やかな性格で感情を荒げることは少ないが、いつもしている支援を急にかたくなに拒むことが時折ある。

【質問】表情の変化が少なくなっているのは、場面が動く時ですか？それとも何らかの行為に関わっている時ですか？

【回答】職員や他利用者が話し掛けた時の表情でしょうか。反応もあまりはつきりしない様子です。

【質問】支援をかたくなに拒む場合、Aさんはどんな様子(表情、仕草等)ですか？

【回答】無表情で、手を払いのける、という行為が見られます。

(4) 音・光・味・臭い・寒暖等感覚的な苦痛を与える刺激の影響は考えられますか？

・1年程前から一人部屋へ移動(それ以前は二人部屋)。
・夜間は間接照明を使用している。
・食事に好き嫌いはない。
・夏場は夜間汗をかきやすく、冬場は失禁の量が増える。

【質問】夜間、間接照明を使用している理由は何ですか？

【回答】頻繁に起きて居室内を歩き回ることが多かったことと(安全対策)穏やかな睡眠には間接照明が良い、と聞いたからです。

【質問】排泄は昼間・夜間どのような対応をしていますか？(リハビリパンツ、パッド、布パンツ、他)

【回答】基本的に排泄はトイレで行っていますが、日中は尿漏れ、夜間は多量の失禁があります。日中は失禁パンツにパンツ用のパッドをあてています。夜間は失禁パンツに夜用の厚めのパッドをあてています。

(6) 障害程度・能力の発揮に対して、住まい・器具・物品等物的環境による影響は考えられますか？

・二人部屋から一人部屋へ移動する。
・転倒などの危険性があり、ほとんどの家具は撤去した。
・2年程前にトイレの改修工事が行われ、いつもAさんが使用していたトイレが使用できなくなった。

【質問】Aさんは、室内での移動はどのようにしているのですか？

【回答】自力歩行ですが、最近では視力低下のためか職員の歩行介助による誘導が欠かせません。

【質問】現在、トイレについて、Aさんの認識や理解はどうですか？

【回答】トイレ改修以前は自身でトイレへ行くこともありましたが、現在は職員が誘導しないと行けない状態です。そのため、定時排泄介助を行っています。

(7) 要望・障害程度・能力の発揮と、アクティビティー(活動)とのズレによる影響は考えられますか？

・同好会に毎週参加し、裁縫(手芸)を行っていたが、講師の方の負担や他利用者への配慮から参加を中止した。
別の機会に裁縫を行うようになった。

【質問】裁縫(手芸)へのAさんの興味・関心はどのようなものですか？(例えば、とても楽しみにしている、そうでもない、等)

【回答】裁縫の道具を渡してみても、ものの数分で止めてしまわず(やっていることを忘れてしまうのか、興味がなくなったのか...)。

【質問】何か裁縫以外にAさんが楽しめる事柄はありますか？

【回答】音楽(童謡など幼い頃に覚えた曲)にとっても良い反応(歌を歌ったり、手拍子をしたり)が見られることが分かり、現在は音楽の鑑賞が楽しみとなっているようです。

(5) 家族・介護者など周囲からの過剰、あるいは少なすぎる関わりの影響は考えられますか？

・2年程前から遠方の姉が身元引受人となり、たびたび親族を大勢連れて訪ねてくれるようになる(それ以前は近くに住む親族が身元引受人であったが、ほとんど顔を合わせる事がなく、他の親族との関わりもあまりなかった)。

【質問】たびたび親族が訪れるようになったとのことですが、訪問を受けた際、Aさんはどんな様子ですか？

【回答】とても嬉しそうな様子で、別れ際には涙を見せることがあります。また、姉からの手紙を代読する際にも涙を流しながら聞いています。

【質問】訪問を受けたことを、後でAさんは覚えていますか？

【回答】数分後には忘れてしまっています。家族で覚えているのは、恐らく姉だけだと思います。

(8) 生活歴・価値観等に基づいた暮らし方と、現状とのズレによる影響は考えられますか？

・穏やかな性格から、周囲からの干渉を受けやすい。時には行動を制限されてしまうこともある。

【質問】「他からの干渉」とは、具体的にはどのような状況ですか？

【回答】皆がいるデイルームで過ごす場合、世話焼きをしてくれる利用者が多数います。その世話焼きが、傍から見ると、中傷的であったり暴力的であったり...といった状況(理解することができないAさんに無理やり理解させようとする)です。

【質問】その時、Aさんはどのような様子ですか？

【回答】「アハハハ。」と笑っているか、「おっかない。」と言うか、どちらかです。あまり、抵抗することはありません。

